

鉾立小学校 児童の安全確保に係る対応方針地域説明会
(胸上小保護者対象)
議事録

日 時：令和5年10月5日(木) 19:00～19:30
場 所：胸上小学校ランチルーム
出席者：教育長、教育次長、教育総務課長、学校教育課長
(教育総務課職員、胸上小学校職員)
参加者：保護者5名、市議会議員5名、報道機関1名

1. 開会(挨拶)

教育長

鉾立小学校の耐震化ができない、プレハブが建てられない中、安全確保のため、鉾立小学校の児童に胸上小学校へ通学してもらうことに伴い、教育総務課長から詳細説明をする。

他の学校の生徒と一緒にいる事の不安、心配が有るかと思うが、保護者の皆様から忌憚のないご意見を賜り、できるだけ統合されて良かったと思っていただけるよう対応していく。

2. 説明

資料に沿って説明(教育総務課長)

- ・スクールバスで胸上小学校へ通学する
- ・鉾立小、胸上小、鉾立小+胸上小の学年別想定児童数
- ・今後の流れ(想定)

3. 意見交換(一部文脈修正)(本件以外の質疑は省略)

参加者1

鉾立小は休校ということだが、鉾立小学校の児童は胸上小学校の校歌を歌うようになるのか。また、名称は胸上小学校のままか。

教育総務課長

鉾立小は休校という取り扱いだが、胸上小学校の児童として通ってもらうことになる。

名称はそのままである。

参加者 1

令和 6 年度中に、教育課程、学校行事、PTA 活動のすりあわせ、交流活動等とあるが、どのような交流活動を予定しているか。運動会等の学校行事ごとでそれぞれすりあわせをしていくのか。

教育総務課長

銚立小学校の校長からも子ども同士で交流を行い、スムーズに令和 7 年の 4 月を迎えられるようにしたいと話があった。また保護者同士の交流も重要と考えている。修学旅行、校外学習は合同で行っているが、今後は ZOOM を使用した授業内での交流やスクールバスの試運転を利用し、4 月までに何度か合同での授業を行う等、工夫を行いながら 4 月を迎えたいと考えている。現状で決まっているものはない。

参加者 2

スクールバスの本数は決まっているか。停留場所は決まっているか。

教育総務課長

まだ決まっていない。基本的にはシーバス、路線バスの停留所を活用する想定をしている。いずれにせよ市議会に認められた後、安心安全を考え、全ての停留所を経由するのが良いか、乗り降りしやすい広い停留所に限るのか等、保護者の方と話しながら決めていきたい。

バスは 2 台を想定している。朝は 2 台で 1 便と考えている。帰りは下校時刻が学年により異なるので、学校と調整しながら決定していく。

参加者 3

制服、体操着等は統合することで変わることはあるか。

教育総務課長

教育委員会としては基本的には今ある物を使用してもらいたいと考えている。新たに購入しても構わないが、今ある物を使用してもらって構わない。

参加者 1

銚立小学校の休校ということだが、銚立小の維持管理をどうするのか。

教育総務課長

休校の間は学校ではあるので、維持管理は必要と考えている。その中でも地域の方がバレーなどで体育館を使用したり、グラウンドゴルフで運動場を使用

したりしていると聞いているので、休校中であっても利用してもらいたいと考えている。誰も立ちいらないと急激に建物が傷むことが考えられるので、空気の入れ換え等は必要だと思っている。

将来的に木造校舎を残したいという意見もあるので地域の方と話しながら考えていきたい。今の段階で決まっていることはない。

参加者 1

校庭は使えるということでしょうか。芋掘り等の行事の際、校庭にバスを止めるといった利用は可能ということでしょうか。

教育総務課長

そういった行事があるのであれば、してもらえればよい。

4. 閉会